

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クルハウス				公表日	令和8年3月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		少人数制を活かし、活動内容に応じて空間を使い分けることで、落ち着いた支援環境を確保している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの特性に応じて柔軟な支援ができるよう、経験のある職員を中心に配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが見通しを持ちやすい環境にしている	障がい特性への対応力向上が今後の課題です	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃と整理整頓を徹底し、安心して過ごせる快適な空間づくりに努めている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		気持ちの切り替えや一人になれる環境を確保している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングで日々の課題を共有し、小さな改善を積み重ねている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年度末に保護者評価表を配布し、意見を集約して支援や運営の見直しに活かしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや日報を通じて職員の意見を共有し、日々の運営に反映している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		定期的に外部評価を受けられるような体制づくりをしていきたいです	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加を推奨しています		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画を子どもの実態に応じて丁寧に作成し、保護者と共有している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者と共有しながら個別支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員と定期的に情報共有を行い、子どもの状況を踏まえた計画作成をしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員と定期的に情報共有を行い、子どもの状況を踏まえた計画作成をしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察や保護者との情報共有を通じてインフォーマルなアセスメントを行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援や家族支援を中心に、子どもに必要な項目を設定し具体的な支援内容を計画に反映している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定例ミーティングで職員が意見を出し合い、子どもの特性に応じた活動プログラムをチームで立案している		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	季節行事や子どもの興味に応じた内容を取り入れ、活動が単調にならないよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	こどもの特性や状態に応じて個別と集団活動を柔軟に組み合わせ、支援計画に反映している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援開始前に職員同士で当日の活動内容や役割分担を確認し、連携して支援にあっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後に職員間で子どもの様子や支援の振り返りを行い、気づきや課題を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎日の支援内容や子どもの様子を記録し、職員間で共有して支援の質向上につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年ごとにモニタリングを実施し、子どもの変化に応じて支援計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	学習支援・生活訓練・余暇活動・地域交流をバランスよく取り入れ、子どもの成長を多方面から支援している	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動内容や順番をこども自身が選べる場面を設け、自己決定の経験を積めるよう支援している		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	こどもの支援に日常的に関わる職員が担当者会議に出席し、具体的な状況を共有している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	学校や相談支援事業所、医療機関等と情報共有を行い、連携した支援体制を築いている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	年間行事予定や下校時刻の確認、送迎時の情報共有などを通じて学校との連携を図っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	児童発達支援事業所や園との引継ぎ時に面談や書類を通じて情報共有を行い、子どもへの理解を深めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	卒業時に支援記録や個別支援計画を整理し、次の事業所へ必要な情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	必要に応じて機会を設けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	子ども食堂などで作っている	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	出席の要請があれば参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	持っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	行っている		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	行っている		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	設けている		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	得ている		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		現在保護者会は行っていないが、オンラインでも行えるようにしたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子ども食堂など連携して行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○		現在対象の子どもはいない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在対象の子どもはいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		行っている		